



PTA新聞

発行所
 山形県立寒河江工業
 高等学校PTA
 山形県寒河江市緑町148
 電話(86)4278

第61号
 平成21年7月22日



平素より保護者の皆様方にはPTA活動に多大なご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて平成二十一年度が、PTA活動の基本方針「家庭と学校との協働活動により、生徒の健全育成を図る」を軸にスタートしましたが、PTAの目的は、正に家庭と学校、地域が一体となつて二十一世紀を担う子供達を健全に育成する事だと思ひます。学校だけ、家庭だけ、地域だけが頑張つても意味がなく、**全員参加でPTA活動**を三位一体となつて取り組んでこそ充実した教育活動が出来るものと考えます。そのような意味では、本校のPTA活動は、見事に調和が取れた活動ではないかと思ひます。



PTA会長
木村 博 明

「全員参加」です。いくら立派な事業でも参加者が少なければ成り立ちません。ではどのようにしたら全員参加の活動に近づけるのか？ですが、まずは学校へ行って見る事だと思ひます。色々な保護者の方や先生方と出会い、懇談しながら他の家庭の事、学校のこと、地域の情報を聞きながら、また自分の事を話しながらコミュニケーションを取り、子育ての参考になればと思ひます。また、学校に足を運んで子供の様子をじっくりと見て新しい発見が出来ると思ひます。

どうか、今年度のPTA事業に今まで以上に多くの方から参加をお願いし、子供達の成長を見て頂きたいと思ひます。そして我々保護者も少しでも成長して行ければと思ひます。最後になりますが、今後とも保護者の皆様、先生方には益々のご協力をお願い申し上げます。

地区別に実施しています親子ボランティアや地区懇談会、寒河江みこし祭への参加、親子レクリエーション。生徒会と一緒に実施するマナーアップ街頭指導や声掛け運動。近隣の工業団地内の道路の清掃や技術実習等、多岐に渡り活動しております。

しかしこれらの活動の基本

各専門部より

総務部について

総務部部長 松田政美

総務部は円滑なPTA活動が行えるよう支援する組織です。今年度は、三年に一度の大寒工祭があります。そこで今年度に限っては、各地区のPTA会員ごとに展示ブースを設けて、地区の展示物（親子ボランティア活動の写真、手芸など）の自慢の物を展示してもらい地区と親と子供のアピールをしてもらつてはどうかと思つていますので、何かと大変忙しい時期とは存じますが、なお一層大寒工祭を盛り上げるためにも各地区の会長さんを中心に多くの会員の参加を頂きます様によりしくお願い致します。

平成二十一年度育成部

年間活動について

育成部部長 柴田正明

育成部の年間活動を簡単に紹介致します。四月、第一回

評議委員会とPTA総会。五月PTA専門部会、事前打ち合わせ会。六月は交通事故撲滅運動、マナーアップ運動で三休体制にて登校時声掛け運動を三日間、先生方、生徒会、生活委員の皆さんと行ないました。九月は寒河江みこし祭りにおける防犯巡回指導を行う予定です。十月は大寒工祭登校時、交通安全並びに生活マナー向上に向けた声かけ運動を行う予定です。どの様にを行うかの詳細は後日検討して決定予定です。健全育成を学校と協力して行います。

地域の絆を深める為に

体育部部長 斎藤好弘

今年で三十二回目を迎えるPTAレクリエーション大会が開催されます。女子はソフトボール、男子はソフトボールです。同じ地区でもよく解らず、親と子も一致しない人が多いのですが、この時ばかりは練習や本番で良い汗を流し、団結するものです。

地域の絆を深める行事となり大きな意味があると言えます。各地区担当の体育部の方の協力の下、良い汗を流し親睦を深め、寒工PTA活動を成功させたいものです。是非みなさんの御協力を期待致します。

寒工高のよさを

どんどん載せたい

文教部部長 西長和彦

文教部の今年度の活動は、二回のPTA新聞の発行が主となります。PTA新聞は、昨年度から紙面が一新し、ページ数が増え、より多くの記事や写真を掲載できるようになりました。

PTA新聞を通して、学校の取り組みや生徒の活躍の様子、さらに本校PTAの活動などを分かりやすくお伝えできればと考えています。

この度、多くの皆様のご協力をいただき第61号を発行することができました。ぜひ、ご家族と一緒に読んで楽しい会話を弾ませてください。寒工高は本当に素晴らしい学校だと思ひます。皆様の多方面での活躍をどんどんお寄せください。次号の更なる充実につなげたいと思ひます。

日頃より保護者の皆様には、本校の教育活動に対して御理解と御協力を頂き、誠にありがとうございます。

四月に一六〇名の新入生を迎え、生徒数四三五名でスタートしました。四月のPTA総会の出席率が57%と昨年の46%から大幅アップ、また授業参観参加率も31%と昨年11%からの大幅アップです。保護者の皆様の関心の高さを感じます。これからの地区毎ポランテア、地区対抗レク大会等へも

心の通い合う学校



校長 吉田 敏明

御協力をお願いします。

となつて取り組んだ結果、地元から高い評価を得ています。本校には、誇りに思えること、自慢できることが多いし、それは自信を持つていい事だと思えます。学校を誇りに思い、自信を持つて行動できる人間、そして、地元を誇りに思い、地元で頑張る人間を育てて行きたいと考えております。また私は、生徒の良いところを見つけて出来るだけ褒めたいと考えています。褒められれば、その良い点を伸ばそうとします。褒めることは相手を知ることで、めぐることで、そこからコミュニケーションが生まれます。心を通わせるために大事なことだと思えます。生徒同士があるいは教師と生徒が、お互いを認め合い、褒めあえる関係のある学校でありたいと思えます。

師のみならず、複数の目で生徒一人ひとりに目をかけられる心の通い合う学校であると思えます。親と子、そして教師の関係で築くPTA活動に、地域との関わりを組み合わせると、地域共同体の温かみのある人間関係を復活できるのではないかと思います。地域力の再生にまで話が及ぶ、そんなPTA活動でありたいと思えます。

いま本校は、「地域に根ざし、地域に開かれた学校づくり」を目標に学校が丸ごと、今後とも、保護者の皆様の御協力をお願いいたします。

クラフトマン事業

齋藤 秀志

先日、工業団地の中心に位置する「地の利」をいかし、学校では体験できない企業でのものづくり技術の習得や、企業現場の雰囲気体験することを目的とする企業実習を実施しました。今年度、機械科二年生を対象とし、実習テーマの一つに企業実習を位置づけ、実習先企業の得意とする専門分野を学習します。全国的にも珍しい取り組みで、工業教育の新しい試みとして、多くの報道機関から取材を受け紹介されたこともあり、各方面から注目を集めています。



企業実習の様子

本校では、地域産業界や行政等と連携し、将来の地域産業を担う人材育成を目的とする二つのプロジェクトを実践中です。企業実習もその一環として実施しました。以下に、二つのプロジェクトの概要をお知らせします。

クラフトマンさがえ

ものづくり産業担い手育成モデル事業（文部科学省・経済産業省共同事業）は、教育課程の研究・地域ものづくり人材の育成・教員の資質向上の三つの柱から、創造開発型ものづくり人材の育成を目指します。具体的には、次の事業を実施します。

- ① 企業実習プログラム（前述）
- ② 外部講師招聘事業

高度な技能を有する企業人による技能検定等の実践的指導や、一流講師陣による最先端セミナー等を開催します。

③ 産学官連携共同研究

産学官連携事業として、ものづくり（組込み技術等）に関すること、情報通信技術に関することの二テーマで研究中です。

④ 教員研修・実習

今年度、全教員を対象に実施します。キャリア教育に関する研修では、地域企業の視

未来の起業家プロジェクト

高校生「未来の起業家」育成モデル事業（山形県教育庁事業）は、実践的なキャリア教育として、ビジネスを起こす起業家精神を持った若者を育成し、将来の地域経済活性化につながる事業の起業を期することを目的としており、次の事業を実施します。

- ① I T 起業家と未来を語る会
県内外の I T 業界で活躍する起業家によるパネルディスカッションを実施します。
- ② 一日社長体験
インターンシップ時に、ジョブシャドウや意見交換会等による一日社長体験を実施します。

③ 企業・研究施設見学

本校 O B 起業家講話や研究者講話、工業技術センターを訪問して最先端技術・設備の見学を実施します。

最後になりますが、今後とも本校は、地域の次代を担う人材を育成してまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。



山形県高P連総会・研修会に参加して

PTA副会長 酒井原康志

六月十一日、十二日に鶴岡市のあつみ温泉を会場に「山形県高等学校PTA連合会総会・研修会(田川大会)」が開催され、役員で参加をいたしました。

県内全域からの参加ということで総勢三四〇名程の参加がありました。

今年は「他者とのかわりの中で結ぶ友情・家族・地域とのきずなくその充実と広がりを目指して」のメインテーマで、九校より発表がありました。

各校ともどれもすばらしい発表でしたが、内三校からは(本校のPTA活動の特色でもあります)地区PTA活動の発表がありました。

親子による地域ボランティア活動を行っている学校では、
①一緒に活動することで、会話をすることが出来てよかったです。

②子どもが一生懸命活動している姿に感動した。

③子ども達自身が花を植えたり清掃した駅を通学の生徒がきれいに使っている様子

を子どもから聞いてうれしかった。

と実施後の保護者の感想があり、活動をおして子どもと保護者の相互に親密感や信頼感が高まっている報告もありました。

地区PTAは本校PTA活動のベースと考えており、保護者の皆様におかれましては、今後ともPTA活動へ積極的に参加して頂きますようどうかよろしく願います。



若草のみち活動

「若草のみち」とは西寒河江駅前のY字路入口から米沢十字路までの中央工業団地を貫く本校南側の道路をいい、地域の住民・企業・学校が一体となって交通安全および環境美化の模範にしようという30年以上の歴史を持つ活動です。

その一環として本校では毎年6月に地域の企業の方と一緒に道路沿いの並木下の除草と花植えを行っています。

今年は6月5日県高校総体の日、学校に残った約240名の生徒と、企業の方55名それに先生方で除草し1250個のポット苗を植えました。

当日は曇りで日差しも強くなく絶好の作業日となりました。2時間程度で終了しましたが、路傍が見違えるほどすっきりと綺麗になりました。おまけに翌日は、高校総体にはあいにくでしたが、花にとっては恵みの雨となりました。

この道を通るとき、改めて交通安全と環境美化を肝に銘じて行きたいと思ひます。

ボランティア・シリーズ

寒河江南地区PTA会長 安孫子義徳

8月2日(日)に、年間計画にある奉仕活動を行います。内容については、特別養護老人ホーム長生園の清掃活動です。

常には手の届かない窓や、換気扇、車椅子などをきれいにしたいと思っています。老人介護現場での奉仕活動という事で、お年寄りの方に接する機会もあり、子供達だけではなく私達保護者にとっても素晴らしい経験になる事と思ひます。

また、親と共に活動する場なども少ない昨今、ボランティアを行なう事は、大きな意義があるのではないのでしょうか。ボランティアの語源は、志願者とあります。無償で自発的に活動に参加するのが奉仕活動なのですが、真の意味でのボランティア活動を理解して頂き、たくさんの参加を期待しております。

寒河江西地区PTA会長 松田政美

今年度も寒河江西地区親子ボランティア活動は、7月19日(日)曜日午前6時～7時の約1時間の活動をおこないます。場所は、今年度も当地区谷沢、いこいの森の清掃です。内容は、沼周辺及び広場のゴミ・空き缶拾い、約1kmを生徒と親とで回り、指定のボランティア用の袋に回収することが目的です。毎年、朝早い活動なので多くの生徒が集まるかどうか心配な面もありますが、何とか有意義なボランティア活動にしたいと思います。今年度も地区担当の先生からもお手伝いしていただき、終了後にもいこいの森の管理人さんからあいさつを頂き無事に終了したいと思います。また、この活動を通して、親子の絆、そして寒河江西地区の親睦を深めることが目的なので西地区のメインイベントと思っています。これからも未永くこの親子ボランティア活動が続けていければと思っています。

PTA指導者研修会に参加して

PTA副会長 高橋善浩

六月十一日から二日間「他者とのかわりの中で結ぶ友情・家族・地域との絆」をスローガンとした山形高P連県大会が鶴岡市で開催され、校長先生始め五名で参加して参りました。PTA関係は初心者であり、学ぶべきことが多くありましたので皆様方にもご紹介致します。

県内五十一校から三百余名が集い、数校からPTAの状況や、活動報告があり、テーマ毎の分科会で活発な意見交換がありました。内容的には、私たちの寒河江工業高校で取り組んでいる、ボランティア活動や地区・支部活動など、地域と連携した活発な活動が報告されました。挨拶運動やマナーアップ運動など、どの学校においても同じ様な施策を講じているようでした。今後、子どもたちのために先生、保護者、地域と共に活動を展開する必要性を実感致しました。

二日目、東京下町の岡野工業社長の岡野雅行氏の講演がありました。内容は、今後の若手エンジニアに聞かせたい

「元気を出せ！智慧を絞れ！自信をもて！」というテーマで、学問だけが優秀よりも人間性が重要だと教えてくれました。子供たちが成長するには、好きなことを一生懸命やらせる親の大切さ、子供を信頼し「今、何をさせるべきか。」を良く考え豊かな心を育成する重要性を示してくれました。大変面白く、会場も大盛況でした。学業でランキングされる時代を否定し、人間としての思いやりや協調性を育成させることが、PTAと地域の役割であると実感しました。今後、寒河江工業高校PTA活動が全員参加で盛り上がり、子供たちを立派な社会人・企業人に育て上げられるよう皆さんのご理解、ご協力をお願い致します。



全国大会への思い

陸上競技部顧問 高橋直人

県高校総体の男子やり投で川越充裕（三年）が二位に入賞し、東北大会出場を果たしました。東北大会は、朝から肌寒く時々雷鳴が轟くコンディションの中、福島県あずま陸上競技場で行われました。東北大会の緊張感と悪コンディションが重なり、顧問としては心配でしたが、川越は、そのような不安をうち消す集中力で試合に挑み、一投目から自己ベストを出し、結果、三投目の投擲（56m36）

が見事五位に入賞しました。そして、昨年度の雪辱を果たしました。川越自身が成長したことはもちろんですが、多くの方々の応援があつたからこそ、このような結果が得られたのだと思います。インターハイは七月下旬、奈良県で行われます。それまでに、更に技術・精神力を高め、全国の舞台で活躍できるように指導していきたいと思えます。応援よろしくお願い致します。

サーベイコンテスト

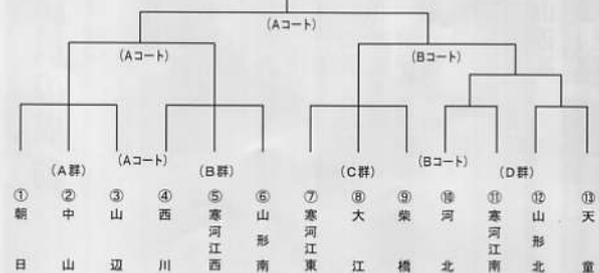
土木科長 伊藤一夫

応援、御協力ありがとうございました。

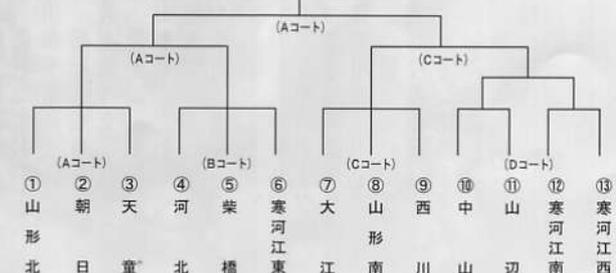
第十七回サーベイコンテストが六月三日に行われました。県内10校から27チームが参加し、平板測量、水準測量、トータルステーション測量の三種目に分かれ、測量技術の正確さと速さを競いました。毎日遅くまで練習を重ねてきた結果、トータルステーション測量が優勝し、東北大会出場を決めました。又、水準測量でも準優勝できました。



【バレーボール組合せ】(H21年)



【ソフトボール組合せ】(H21年)



レクリエーション組合せ

私が社会人になり、高校時代にやってよかったと思うことはボランティア活動です。私の地域には地区ごとに高校生ボランティアサークルがあり、三年間活動を行いました。ポラン



新任の先生より

ティア活動をしてみて「めんどくさい」という感情から「楽しい」「達成感」を感じるようになってきました。それは他校の生徒と意見交換しながら活動し交流を深めたことや、児童から

自分を育て伝える

情報技術科 教諭 鈴木 健

自分から率先して行動するということ。そして自分から率先して行動する。その後、寒河江工業で行われている「若草の道」などの活動を通し、地域に根ざした活動に参加し、私の経験を伝えて行きたいと思っています。

大人まで広い年代の方々と話ができるようになったからだと思います。この経験が社会に出て生活をしたときに、誰とでも会話ができるという自信と、相手を思いやる気持ち、そして自分から率先して行動する

保健部より

新型インフルエンザについて
本校での取組状況

今年の四月末に米国内で発生、WHO（世界保健機関）は間もなく「フェーズ5」を発表しました。日本国内では五月九日に感染者が発生したことを受け、国は「運用指針」を策定し、本県でも「新型インフルエンザ感染症発生に係る対応」を行いました。本校では、五月二十日から現在に至るまで毎朝、各HRにおいて、様疾患の状況を調査するとともに、往來のインフルエンザ予防の励行に努めています。幸いにも、本県での感染

者は、未だ報告されてはいません。しかし、今後、長期休暇中には渡航や国内旅行、部活動における県外遠征等行動範囲が広がることから、予想されることから、さらに、予防の周知徹底を図ってまいります。

学校、家庭でできる

予防対策に御協力ください。

- ① 国外や国内旅行を予定している場合は、担任にご報告ください。
- ② 手洗い、うがいの徹底と人ごみや繁華街への外出を控えるとともにマスクの着用を徹底してください。
- ③ もし、症状等が発症した場合、速やかに学校にも報告ください。

進路指導部より

部長 阿倍 繁憲

昨年度はキャリア教育の指導が功を奏し、就職・進学とも早期に100%を達成できました。しかし、今年度は当初から厳しい情勢が予想されます。それを数字でお知らせします。

- (1) 企業訪問の報告によれば、①「求人する」は32社（24%）、昨年度は38%）、②「未定・不明・検討中」は54社（41%）、③「求人しない」は46社（35%）。
- (2) ハローワークが主催した求人説明会の参加企業数は、寒河江管内で39件（昨年度91%）、村山管内17件（37%）、山形管内51件（54%）である。
- (3) 一般の求人倍率は、寒河江管内が三月0.25、四月0.23、五月0.22（昨年度0.66）、村山・山形管内も同様に低い。

日から電話や訪問で求人への依頼をしています。十日現在の県内求人件数は39件（昨年度同期70件）、県外求人件数は102件（同263件）です。今年度の特徴は①県内・外の求人件数と求人数が激減している。②県外ではエネルギー、重電機器、鉄道などの基幹分野に求人がある。③景気にあまり左右されない少数の特殊な製造業が堅実。④県内企業では先行きの見通しが立たないため求人未定が多い。といえます。

このような県内の求人が少ない状況では、県外就職をも視野に入れざるをえません。

- ① 将来の技能・技術が身につく職種、② エネルギー、重電機器、鉄道関係が比較的良好
- ③ 競争率も当然高いから一回のチャンスに勝つ、がポイントです。

進学関係では、社会の経済状況を反映して、費用の安い学校が人気を集め、競争率も高くなりそうです。進学の選択肢は比較的幅広いので、オープンキャンパスをいくつか体験して失敗しない学校選びを心がけて欲しいと思います。

生徒、保護者・職員、同窓会など一丸となってこの難局を乗り越えましょう。

教職員の異動

- 〔ご退職〕 佐藤 啓 (校長)
- 〔ご転出〕 佐藤 憲世 (教頭)
- 真室川高 菊地 恵 (国語)
- 山形西高 渡部さつき (国語)
- 庄内農業高 齋藤 展希 (地歴公民)
- 山形工業高 茂木 麻子 (保健体育)
- 山形商業高 岡崎 陽子 (英語)
- 寒河江高 黒沼千恵美 (家庭)
- 山辺高 齋藤 昌広 (電子機械)
- 寒河江工業高 鈴木 智夫 (情報技術)
- 山形工業高 浅黄 義昭 (土木)
- 山形工業高 小野 昌紀 (主事)
- 最上総合支庁 齋藤 優子 (主事)
- 山形県庁
- 〔ご転入〕 吉田 敏明 (校長)
- 県教育センター 貝田 裕昭 (保健体育)
- 県教育庁スポーツ 遠藤 文子 (英語)
- 真室川高 渡邊 晃 (地歴公民)
- 県高校教育課 武田 尚子 (総務主査)
- 山形工業高 吉田 里美 (主事)
- 村山総合支庁 白井 陽子 (国語)
- 霞城学園高 管 浩平 (土木)
- 米沢工業高 佐々木良純 (音楽)
- 吉田 佳子 (家庭)